

(広報資料)



京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



健康長寿のまち・京都

令和2年8月31日
京都市保健福祉局

健康長寿のまち・京都推進室健康長寿企画課
電話 746-7734

令和2年度における認知症普及啓発の取組について

京都市では、「世界アルツハイマーデー（9月21日）」や「世界アルツハイマー月間（9月）」※1に合わせ、認知症への偏見や誤解をなくし、認知症にやさしいまちを目指すため、下記のとおり認知症についての普及啓発の取組を実施しますのでお知らせします。

※1) 世界アルツハイマーデー・世界アルツハイマー月間

1994年、国際アルツハイマー病協会が世界保健機関と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定。また9月を「世界アルツハイマー月間」定め、様々な取組が行われている。

記

1 啓発キャンペーン「認知症とともに 2020」

(1) 取組概要

京都市内の協力機関において、ポスター（別紙1）の掲示等を行う。

(2) ねらい・目的

- ・ ポスター掲示や啓発リーフレット等の配架を行う場所を数多く設け、市民が認知症に触れる機会を増やすことにより、認知症についての関心を高め、正しい知識や理解を持つためのきっかけづくりをする。
- ・ 取組を通じて、ポスター掲示や啓発リーフレット等の配架への協力が得られる機関との関係構築を行い、認知症にやさしい地域づくりを推進していくための足掛かりとする。
- ・ 日本認知症ワーキンググループ※2による「認知症とともに生きる希望宣言（別紙2）」の掲示をすることにより、認知症とともに前向きに生きる当事者の姿を伝え、「認知症は怖い」「認知症にだけはなりたくない」といったマイナスイメージを払拭する。

※2) 日本認知症ワーキンググループ

「認知症とともに生きる人が、希望と尊厳をもって暮らし続けることができ、社会の一員としてさまざまな社会領域に参画・活動することを通じて、よりよい社会をつくりだしていくこと」を目的に活動する団体（一般社団法人）。

2 特別展示「認知症にやさしい本集めました」

1の取組の一環として、京都市図書館のうち18箇所、認知症に関連する図書の特設コーナーを設けるとともに、ポスター(別紙1)の掲示や啓発リーフレット等の配架を行う。

3 「わたしが紹介したい認知症にやさしい本 at 醍醐中央図書館」

醍醐中央図書館で実施される特別展示「認知症にやさしい本集めました」(9月17日～10月8日)においては、醍醐支所管内の高齢サポート(地域包括支援センター)^{※3}等との協働により、認知症の関連図書を認知症の本人・家族を含む認知症に関わる人たちの書評とともに紹介する。

※3) 高齢サポート(地域包括支援センター)

地域で暮らす高齢者を、介護・福祉・健康・医療の面から総合的に支援するために、京都市が市内61箇所、委託運営している公的な相談窓口。

醍醐支所管内には2箇所の高齢サポートがある。

(参考) 京都市京セラ美術館のライトアップ

世界アルツハイマーデー(9月21日)には、京都市京セラ美術館において、光のアーティスト高橋匡太がデザインしたオレンジライトアップ(※)を行います。

(※) オレンジ色=認知症支援のイメージカラー

高橋匡太プロフィール

1970年生まれ。京都府出身。1995年京都市立芸術大学大学院修了。映像と光を巧みに操りライティングプロジェクト、パブリックワークなど幅広く活躍。元離宮二条城、十和田市現代美術館、東京駅など大規模な建築物のライティングプロジェクトでは、ダイナミックで造形的な映像と光の作品を作り出している。